



Vertical title slip on the left edge of the book cover, containing text in a non-Latin script.

A small, rectangular, faded label on the upper part of the book cover, possibly containing a library or ownership mark.



L*	a*	b*
38.12	34.34	49.25
65.43	21.44	24.49
49.87	38.91	52.24
44.26	39.92	50.60
28.86	42.73	52.24
16.19	35.11	48.20
8.29	28.86	44.26
3.44	16.19	28.86
1.00	0.00	0.00

學務院圖書

東京府地誌

明治二十六年
東京府



東京府地誌
東京府
東京府
東京府
東京府
東京府

卷之二

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

中國地圖

此圖係根據最新之測量資料繪製而成，其範圍包括中國全境及周邊地區。圖中標註了主要城市、河流、海洋及地形特徵。圖例如下：

●	首都
○	省會
□	縣城
▲	重要港口
■	鐵路
—	公路
—	國界
—	省界
—	縣界
—	河流
—	海岸線
—	領土



卷之四 古風 七言 五言 四言

目錄

一、古風 七言 五言 四言
二、古詩 七言 五言 四言
三、古樂府 七言 五言 四言
四、古雜言 七言 五言 四言
五、古律 七言 五言 四言
六、古絕 七言 五言 四言
七、古詞 七言 五言 四言
八、古賦 七言 五言 四言
九、古論 七言 五言 四言
十、古書 七言 五言 四言
十一、古傳 七言 五言 四言
十二、古記 七言 五言 四言
十三、古序 七言 五言 四言
十四、古贊 七言 五言 四言
十五、古頌 七言 五言 四言
十六、古讚 七言 五言 四言
十七、古祝 七言 五言 四言
十八、古咒 七言 五言 四言
十九、古符 七言 五言 四言
二十、古圖 七言 五言 四言
二十一、古式 七言 五言 四言
二十二、古法 七言 五言 四言
二十三、古方 七言 五言 四言
二十四、古藥 七言 五言 四言
二十五、古器 七言 五言 四言
二十六、古物 七言 五言 四言
二十七、古事 七言 五言 四言
二十八、古理 七言 五言 四言
二十九、古德 七言 五言 四言
三十、古行 七言 五言 四言

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、



十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

二十一、

一、關於教育之研究。教育之研究，其範圍甚廣，其內容亦極豐富。茲將教育研究之範圍，分述於後：
（一）教育之歷史。教育之歷史，即研究教育之起源、發展、變遷及其與社會之關係。其範圍包括：
1. 教育之起源。2. 教育之發展。3. 教育之變遷。4. 教育與社會之關係。

（二）教育之理論。教育之理論，即研究教育之原理、原則及其與實踐之關係。其範圍包括：
1. 教育之原理。2. 教育之原則。3. 教育與實踐之關係。

（三）教育之實踐。教育之實踐，即研究教育之實際問題及其解決之方法。其範圍包括：
1. 教育之實際問題。2. 教育之解決方法。

（四）教育之比較。教育之比較，即研究不同國家、不同民族、不同社會之教育制度及其異同。其範圍包括：
1. 不同國家之教育制度。2. 不同民族之教育制度。3. 不同社會之教育制度。

（五）教育之未來。教育之未來，即研究教育之發展趨勢及其對社會之影響。其範圍包括：
1. 教育之發展趨勢。2. 教育對社會之影響。

時。上。下。同。心。一。德。而。後。可。以。成。事。此。其。一。也。夫。古。之。欲。求。治。國。者。必先。求。其。心。之。同。也。心。同。則。德。歸。德。歸。則。民。服。民。服。則。事。成。此。其。二。也。夫。古。之。欲。求。治。國。者。必先。求。其。心。之。同。也。心。同。則。德。歸。德。歸。則。民。服。民。服。則。事。成。此。其。三。也。

夫。古。之。欲。求。治。國。者。必先。求。其。心。之。同。也。心。同。則。德。歸。德。歸。則。民。服。民。服。則。事。成。此。其。四。也。夫。古。之。欲。求。治。國。者。必先。求。其。心。之。同。也。心。同。則。德。歸。德。歸。則。民。服。民。服。則。事。成。此。其。五。也。夫。古。之。欲。求。治。國。者。必先。求。其。心。之。同。也。心。同。則。德。歸。德。歸。則。民。服。民。服。則。事。成。此。其。六。也。

夫。古。之。欲。求。治。國。者。必先。求。其。心。之。同。也。心。同。則。德。歸。德。歸。則。民。服。民。服。則。事。成。此。其。七。也。夫。古。之。欲。求。治。國。者。必先。求。其。心。之。同。也。心。同。則。德。歸。德。歸。則。民。服。民。服。則。事。成。此。其。八。也。

論

夫。古。之。欲。求。治。國。者。必先。求。其。心。之。同。也。心。同。則。德。歸。德。歸。則。民。服。民。服。則。事。成。此。其。九。也。夫。古。之。欲。求。治。國。者。必先。求。其。心。之。同。也。心。同。則。德。歸。德。歸。則。民。服。民。服。則。事。成。此。其。十。也。夫。古。之。欲。求。治。國。者。必先。求。其。心。之。同。也。心。同。則。德。歸。德。歸。則。民。服。民。服。則。事。成。此。其。十一。也。



山水圖

山水圖畫，以自然景物為對象，描繪山川、江河、雲霧、草木、鳥獸等，表現自然之美。其特點是注重意境的營造，講究構圖、用筆、墨色、皴法等技藝。山水圖畫在中國畫中佔有重要地位，是文人墨客寄情山水、抒發胸臆的重要载体。

山水畫之於中國畫，猶如詩中之有詞，詞中之有賦，其地位之重要，不言而喻。山水畫之興起，始於東晉，成熟於隋唐，繁榮於宋元，鼎盛於明清。山水畫之發展，與中國文化之演進息息相關。山水畫之價值，不僅在於其藝術之美，更在於其所蘊含之文化內涵。山水畫之欣賞，不僅是視覺之享受，更是心靈之陶冶。



漢宮遺址

漢宮遺址之遺址

遺址

漢宮遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

漢宮遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

遺址之遺址

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、

所編撰諸書皆由名儒一筆而成。其書之目可考者如左。其書目

一、諸子論

二、史論

三、文集

四、雜著

五、詩話

六、書話

七、文話

八、詩話

九、書話

十、文話

十一、詩話

十二、書話

十三、文話

十四、詩話

十五、書話

十六、文話

十七、詩話

十八、書話

十九、文話



卷之三

論事

論學

論文

論詩

論書

論法

論理

論道

論德

論仁

論義

一、姓名：... 二、性別：... 三、年齡：... 四、籍貫：... 五、學歷：... 六、職業：... 七、婚姻：... 八、子女：... 九、其他：...

姓名	性別	年齡	籍貫	學歷	職業	婚姻	子女	其他

一、姓名：... 二、性別：... 三、年齡：... 四、籍貫：... 五、學歷：... 六、職業：... 七、婚姻：... 八、子女：... 九、其他：...

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、



一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

... 一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...



... 一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

中國各省分圖



Legend box containing text and symbols for the map, including a scale bar and a key for symbols.

Main text block on the right page, consisting of vertical columns of Chinese characters.

廣西通志卷之二



一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、



一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、



一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、
五十一、
五十二、
五十三、
五十四、
五十五、
五十六、
五十七、
五十八、
五十九、
六十、
六十一、
六十二、
六十三、
六十四、
六十五、
六十六、
六十七、
六十八、
六十九、
七十、
七十一、
七十二、
七十三、
七十四、
七十五、
七十六、
七十七、
七十八、
七十九、
八十、
八十一、
八十二、
八十三、
八十四、
八十五、
八十六、
八十七、
八十八、
八十九、
九十、
九十一、
九十二、
九十三、
九十四、
九十五、
九十六、
九十七、
九十八、
九十九、
一百、

臣等謹將欽定四庫全書
 目錄開列於左
 一、經部
 一、易經
 二、書經
 三、詩經
 四、禮記
 五、春秋左傳
 二、史部
 一、通志
 二、紀事本末
 三、編年
 四、目錄
 五、史記
 六、通鑑
 三、子部
 一、儒家
 二、道家
 三、雜家
 四、醫家
 四、集部
 一、詩集
 二、詞集
 三、文集
 四、類書
 五、韻書
 六、字書
 七、匯編
 八、雜著
 九、目錄
 十、叢書
 十一、叢書
 十二、叢書
 十三、叢書
 十四、叢書
 十五、叢書
 十六、叢書
 十七、叢書
 十八、叢書
 十九、叢書
 二十、叢書
 二十一、叢書
 二十二、叢書
 二十三、叢書
 二十四、叢書
 二十五、叢書
 二十六、叢書
 二十七、叢書
 二十八、叢書
 二十九、叢書
 三十、叢書

欽定四庫全書
 目錄
 一、經部
 一、易經
 二、書經
 三、詩經
 四、禮記
 五、春秋左傳
 二、史部
 一、通志
 二、紀事本末
 三、編年
 四、目錄
 五、史記
 六、通鑑
 三、子部
 一、儒家
 二、道家
 三、雜家
 四、醫家
 四、集部
 一、詩集
 二、詞集
 三、文集
 四、類書
 五、韻書
 六、字書
 七、匯編
 八、雜著
 九、目錄
 十、叢書
 十一、叢書
 十二、叢書
 十三、叢書
 十四、叢書
 十五、叢書
 十六、叢書
 十七、叢書
 十八、叢書
 十九、叢書
 二十、叢書
 二十一、叢書
 二十二、叢書
 二十三、叢書
 二十四、叢書
 二十五、叢書
 二十六、叢書
 二十七、叢書
 二十八、叢書
 二十九、叢書
 三十、叢書

... 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

... 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百



一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

一、論教育之重要性
 教育者，立國之本也。古語有云：十年樹木，百年樹人。此言教育之長遠影響也。教育能啟蒙民智，培養人才，使國家強盛，民族振興。故凡欲求國家之進步，必先重教育。教育之興，則民智漸開，人才輩出，國家自能日趨繁榮。反之，教育廢弛，則民愚民弱，國家必衰。此理之明，不言而喻。

二、論教育之普及
 教育不應僅限於少數人，而應普及於大眾。教育之普及，能使人人皆有受教育之機會，人人皆能發揮其潛能。普及教育，不僅能提高國民素質，亦能縮小貧富差距，促進社會和諧。政府應加大對教育之投入，完善教育設施，確保教育公平。

三、論教育之改革
 教育制度應隨時代而變。舊有之教育制度，多偏重死記硬背，忽視實踐與創新。改革教育，應注重培養學生之獨立思考能力、實踐能力及創新精神。應加強與社會之聯繫，使教育更貼近實際，更富活力。

四、論教育之未來
 未來教育應更具包容性與國際化。應尊重不同文化之差異，促進文化交流與互鑒。同時，應加強國際教育合作，培養具有全球視野之人才。教育應為人類之共同發展服務，為構建人類命運共同體貢獻力量。

五、論教育之社會功能
 教育具有社會化功能，能使人適應社會生活，遵守社會規範。教育能塑造健全人格，培養社會責任感。通過教育，個人能更好地融入社會，為社會做出貢獻。

六、論教育之經濟功能
 教育能提升人力資本，促進經濟增長。受教育程度高之人才，能創造更多價值，推動技術創新。教育能改善就業結構，提高國民收入水平。

七、論教育之文化功能
 教育是文化傳承之重要途徑。通過教育，優秀文化得以流傳，民族精神得以弘揚。教育能促進文化創新，豐富文化內涵。

八、論教育之政治功能
 教育能培養公民意識，提高政治參與度。教育能促進社會公平正義，維護社會穩定。教育能為國家培養高素質人才，提高國家競爭力。

九、論教育之環境功能
 教育能培養環保意識，促進可持續發展。通過教育，人們能更深刻地認識到環境保護之重要性，並採取行動改善環境。

十、論教育之健康功能
 教育能培養健康生活方式，提高國民健康水平。教育能讓人們了解健康知識，掌握健康技能，預防疾病發生。

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

... 臣等謹將... 奏為... 事... 竊查... 臣等... 奏... 伏乞... 聖鑒... 謹奏

... 臣等謹將... 奏為... 事... 竊查... 臣等... 奏... 伏乞... 聖鑒... 謹奏



Table with multiple columns of text, likely a list or index. The text is very faint and illegible due to the image quality.

Table with multiple columns of text, likely a list or index. The text is very faint and illegible due to the image quality.

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

中
 國
 史
 綱
 目

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

二十一、

二十二、

二十三、

二十四、

二十五、

二十六、

二十七、

二十八、

二十九、

三十、

三十一、

三十二、

三十三、

一、

二、

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

十三、

十四、

十五、

十六、

十七、

十八、

十九、

二十、

二十一、